

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	競技力向上対策支援事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課 体育振興室	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市保健体育振興事業補助金 交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 不明 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			
(小項目)		スポーツ・レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興		終期	未定 ▼
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市体育協会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市体育協会が継続的に運営できるように支援を行うことで、各競技団体の活動を推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		全国大会等出場回数	20	20	20	20	20	回

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	生涯スポーツ及び競技スポーツを推進するために、各競技団体において市民体育祭をはじめとする大会を開催した。また、オリンピックや世界選手権大会、国民体育大会などのスポーツ大会へ出場する者に対して出場補助金を支出した。毎年12月に表彰式を行い、スポーツ活動に貢献した者、スポーツ大会で優秀な成績を残した者の功績を称え、スポーツに対する意欲を喚起し、スポーツ振興を図った。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
	指標名	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	体育協会加盟競技者数	9,058	8,696	9,000	9,000	9,000	人
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたか示す指標</small>		全国大会等出場回数	20	18	—	—	—	回
		目標達成率(実績/目標)		90.0	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	1,245	1,245	1,245	1,245	1,245	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	1,245	1,245	1,245	1,245		1,245
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,344	1,344	1,344	1,344	1,344	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		2,589	2,589	2,589	2,589	2,589	千円	

【事務事業名：競技力向上対策支援事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	鳴門市体育協会を母体とし、競技人口の増大を推進するとともに生涯スポーツ及び競技スポーツを推進するために、各競技団体において市民体育祭をはじめとする大会を開催する。また、体育協会加盟団体に対して補助事業に関するアンケート調査を実施し、今後の支援のあり方を検討する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 生涯スポーツの振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	外部評価委員会において指摘のあった体育協会への助成について、体育協会の現状と課題を把握するとともに、今後の事業目標や助成制度のあり方について検討が必要。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 月末定 ▼			
	どのように改革するのか	体育協会の加盟団体に対するアンケート調査及びヒアリングを実施し、現状と課題を把握した上で、スポーツ推進審議会において、今後の支援のあり方を審議・検討する。			